

MRワクチン

麻疹 (Measles)、風疹 (Rubella) を予防します。→麻疹、風疹

スケジュール

第1期：1歳になったらできるだけ早く接種します。Hib、肺炎球菌、水痘、おたふくのワクチンとの同時接種をお勧めします。

第2期：小学校入学前の1年間（年長さんの間に）接種します。

麻疹も風疹も最近はそれほど診る機会は多くありませんが時々流行して問題になります。

麻疹は 38℃程度の熱と風邪症状から始まり数日で一旦解熱したかと思うと再び高熱が出て全身に発疹が出ます。症状が強くつらい病気です。

風疹は微熱と全身性の発疹、リンパ節腫脹（耳の後ろ、首の後ろ）が特徴で、症状は軽度です。ただ、妊娠初期の女性がかかると赤ちゃんが先天性風疹症候群という治らない病気になってしまう恐れがありますので必ず予防接種をしてください。（妊婦には接種できません）

緊急回避

麻疹の患者さんと接触した場合 72 時間以内にワクチン接種をすると発症を阻止することができます。（家族が発症したときは麻疹と診断されるまでに 72 時間以上経過していることが多くワクチン接種が間に合わないことがあります。）その場合は、生後 6 か月以上であればワクチン接種が可能ですが任意接種（自費）になってしまいます。1歳未満でMR ワクチンをした場合でも定期接種の 2 回の注射はスケジュール通りに進めます。

副反応

MR ワクチンの副反応として 7～10 日後に発熱や発疹が出る場合があります。

軽く麻疹にかかった状態と考えられますが、人にうつす心配はありません